

【池（いけ）の中（なか）には、たくさんの中生生物（すいちゅうせいぶつ）が…】



校庭開放（こうていかいほう）の時間（じかん）に、蓮（はす）の花（はな）を見（み）ようと池（いけ）のところに行（い）くと、子（こ）どもたちが一生懸命（いっしょうけんめい）水（みず）の中（なか）をのぞいていました。

よく見（み）るとカワエビがけっこうたくさん泳（およ）いでいました。見（み）ている中（なか）に、3年生（ねんせい）の男（おとこ）の子（こ）がいて、いろいろと教（おし）えてくれました。

まずは、ヌマエビのオスとメスの見分（みわ）け方（かた）を説明（せつめい）してくれました。【右（みぎ）の写真（しゃしん）】お腹（おな）のところに卵（たまご）を抱（かか）えているのがメスで、体（からだ）も大（おお）きいそうです。【右写真 左側（ひだりがわ）がメス】また、ヌマエビは、10本（ぼん）の足（あし）を掻（か）くようにして泳（およ）ぐことも身振（みぶり）りを交（まじ）えながら教（おし）えてくれました。

次（つぎ）に、カゲロウの幼虫（ようちゅう）かもしれない虫（むし）がいたと見（み）せに来（き）てくれました。【左写真 中央（ちゅうおう）】隣（となり）のカワエビとは明（あき）らかに形（かたち）が違（ちが）います。理科（りか）の先生（せんせい）と、いろいろ調べてみたのですが、カゲロウの幼虫（ようちゅう）の可能性（かのうせい）もあるのですが、イトトンボなどの幼虫（ようちゅう）の可能性（かのうせい）もあります。結論（けつろん）は、出（で）ませんでした。3年生（ねんせい）の男（おとこ）の子（こ）は、「ぼく、育（そだ）ててみる」と力強（ちからづよ）く、言（い）ってくれました。